



大浜小だより

令和3年度 第9号

令和3年12月24日(金)

玉名市立大浜小学校

校長 内田 雅三

たくさんの思い出ができました ~後期前半終了~

10月12日(火)から始まった令和3年度の後期。その前半が今日で終わります。この間も、前期に引き続き新型コロナウイルス感染症の防止に向けた取組を継続しながらの、制約の多い日々を過ごしてきました。

しかし、感染状況の鎮静化を踏まえて、運動会や授業参観等の多くの行事を、昨年度より緩やかな制限のもとで実施することができました。また、音楽の合唱や家庭科での調理実習など、昨年度は満足に実施できなかった学習等にもじっくりと取り組むことができました。昼休みの校庭には、マスクを着用しながら元気に飛んだり跳ねたり走ったりする子供たちの姿があふれていて、これが「新しい日常」なのかと思ったりもしていました。

そのような毎日を重ねながら、子供たちはそれぞれにたくさんの思い出をつくってくれたことと思います。

子供たちは明日から冬休みとなり、年末年始のあわただしさの中で子供なりにいろいろなことを感じたり考えたりしながら毎日を過ごしてくれるものと思います。その中でも、大掃除や新年のあいさつなど、この時期にしか体験することのできない物事を通して、我が国の伝統や文化に対する理解と愛着を深めてもらいたいと思います。

保護者の皆様や地域の方々には、本校の教育活動の推進に向け多大なるご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。この場を借りて心から御礼申し上げます。また、来年も引き続き本校へのご支援・ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

大浜産の海苔をいただきました

大浜小学校の第6代校長であった早野義章先生のご尽力によってこの地で始まった海苔の養殖が、その後有明海一体に広まったことで、この大浜地区が有明海における海苔養殖の発祥の地とされています。

本校では、5年生が総合的な学習の時間の中で、そのような歴史と伝統がある大浜地区の海苔の養殖についての学習を行っています。

このたび、海苔の生産者であり本校の保護者でもある徳永様より、大浜漁業協同組合を通して、本校の全児童に対する海苔のご寄贈をいただくこととなりました。

12月20日に漁協の組合長である木山様と徳永様が本校にお見えになり、児童を代表して6年生の3人が海苔の贈呈を受けました。そして昨日、10枚入りの焼き海苔を全児童に配付させていただきました。



この機会を通じて、子供たちの大浜地区における海苔の生産についての関心が高まることを願っています。貴重な海苔をご寄贈いただいた徳永様と漁協関係者の皆様へ心から感謝申し上げます。

充実の2日間でした

12月21・22日に6年生の修学旅行を実施しました。最初に訪れた原爆資料館はやや人が多かったものの、その他の目的地では時間と空間に余裕があり、じっくりと見学や体験等を行うことができました。また、6年生の参加態度も素



晴らしく、多くの方々からお褒めの言葉をいただきました。本当に充実した2日間となりました。

ご連絡をお待ちしています

地域学校協働活動では、子供たちが地域のためにできることにも取り組んでいきます。何かありましたら、ぜひ学校にご連絡をお願いします。